ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

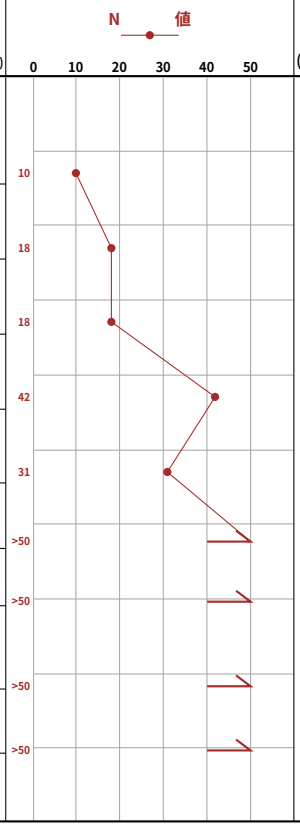
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	BV-4(測点NO.3+18.5C)	調査位置								北　緯	36 ° 39 ' 42.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所				調査期間	2009-07-14 ～ 2009-07-16				東　経	140 ° 10 ' 41.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師			現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者			ボーリング責任者	
孔 口 標 高	74.84 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 15.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具
総 掘 進 長	9.07 m								エンジン		ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	74.04	0.80	0.80		礫混り粘土 (CH-G)	暗褐			上部20cmは腐植物を混じる、またφ100mm程度の角礫点在する 0.20m以深は礫径30mm以下と小さくなり、また少なくなる		
1					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐	中ぐらい		φ20～50mm程度の角礫を主体とする 最大径200mm程度の角礫を点在する 礫間は粘土主体で充填される		07/15 5.25
	69.34	4.70	5.50								
	68.84	0.50	6.00		強風化頁岩 (Sh)	黒灰			風化著しく割れ目も多い コアは砂礫状～粘土状で採取される		
6					頁岩 (Sh)	黒灰			黒灰色の頁岩 割れ目が多く若干風化している 6.0～7.0mは10cm程度の短棒状～礫状で採取される 7.0～8.35mは岩片～礫状となる 8.35～9.00mは5～15cmの棒状で採取される		
9	65.77	3.07	9.07								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	4	10／30	10
1.45					
2.15	5	5	8	18／30	18
2.45					
3.15	4	6	8	18／30	18
3.45					
4.15	16	13	13	42／30	42
4.45					
5.15	9	11	11	31／30	31
5.45					
6.15	9	41／8		50／18	>50
6.33					
7.00	50／9			50／9	>50
7.09					
8.15	50／6			50／6	>50
8.21					
9.00	50／7			50／7	>50
9.07					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/14
						07/15
						07/16